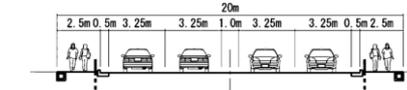


再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：東北振興局道路建設第一課
担当課長名：松武 進太郎

事業名	一般国道202号（浦頭拡幅）		事業区分	一般国道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県佐世保市針尾北町 至：長崎県佐世保市指方町				延長	2.0km
事業概要						
一般国道202号（浦頭拡幅）は、現況2車線の車道を4車線に拡幅することで、円滑で安全な交通の確保及び観光等の産業支援を図る事業である。						
H29年度事業化	都市計画決定 なし		H30年度用地着手	H30年度工事着手		
全体事業費	46.0億	事業進捗率	76%	供用済延長	1.0km	
計画交通量	13,582台/日（R22）					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.08 (残事業) 5.31	総費用 (残事業)/(事業全体) 9.94/48.90億円 〔事業費：9.42/48.39億円 維持管理費：0.52/0.52億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 52.75/52.75億円 〔走行時間短縮便益：50.11/50.11億円 走行費用減少便益：1.29/1.29億円 交通事故減少便益：1.34/1.34億円〕	基準年 令和6年		
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施						
【全体事業】交通量変動：B/C=0.97~1.19（交通量±10%） 【残事業】B/C=4.78~5.84（交通量±10%） 事業費変動：B/C=1.06~1.10（事業費±10%） B/C=4.85~5.87（事業費±10%） 事業期間変動：B/C=1.03~1.12（事業期間±1年） B/C=5.09~5.39（事業期間±1年）						
事業の効果等						
・車線数の増にともなう交通円滑性の向上 ・地域の物流効率化による地域活力の向上 ・緊急輸送道路の機能強化						
関係する地方公共団体等の意見						
佐世保市より早期の整備促進の要望が行われている。						
事業再評価監視委員会の意見						
—						
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等						
—						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
令和5年度末までの事業進捗率は76%で、用地進捗は92%となっており、今後も引き続き事業進捗を図り、令和8年度の事業完成を目指す。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き事業の進捗を図り、令和8年度の事業完成を目指す。						
施設の構造や工法の変更等						
—						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性を考慮した場合、事業継続が妥当と判断される。					
事業概要図						
位置図	標準断面図		位置図			
						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
※ 総費用と総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

令和6年度 第1回 長崎県公共事業評価監視委員会

再評価対象事業

道建-9 道路改築事業
一般国道202号
(浦頭拡幅)

事業主体 長崎県

再評価の理由 再評価後変更(事業費・工期)



1

1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B / C	概要
		着工	完了			
当初 (H29新規)	-	H29	R7	20.0	2.43	【工事概要】 延長2.0km 幅員13.0(20.0)m
第1回審議 (R3)	事業採択後 5年経過	H29	R7	36.0	1.25	【当初評価からの変更概要】 地盤改良と地すべり対策の追加による 事業費の増額
第2回審議 (R6)	再評価後変更 (事業費・工期)	H29	R8	46.0	1.08	【前回評価からの変更概要】 取付道路の追加や物価上昇による事業費 の増額 代替地検討に時間を要したことによる工 期延長

2

2. 目的・事業概要・これまでの経緯

◆目的

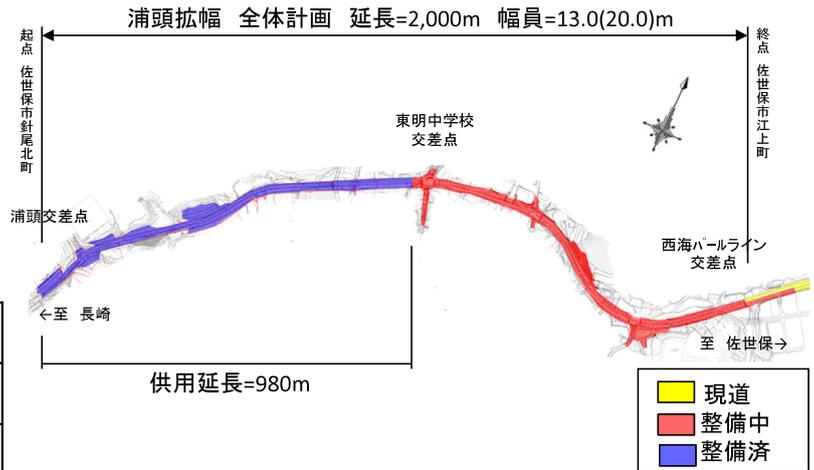
一般国道202号「浦頭拡幅」は、円滑で安全な交通の確保及び観光等の産業支援を図ることを目的としている。

◆事業概要

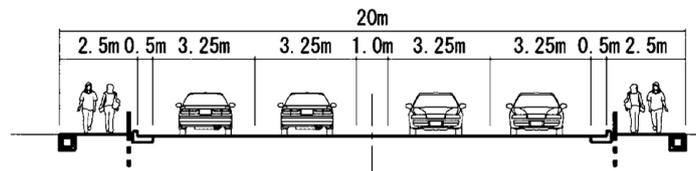
計画延長等	L=2.0km
幅員	W=13.0(20.0)m
計画交通量(R22)	13,582台

◆事業経過

平成29年度	事業化
平成30年度	用地買収着手 工事着手
令和5年度末迄	980m供用開始



標準断面図



【R6年3月末現在】
事業進捗率 76%(事業費ベース)
用地進捗率 92%(面積ベース)

3

3. 事業の効果・必要性

<物流機能の強化>

一般国道202号は、佐世保市を經由し、長崎市に至る重要幹線道路であるが、西海PL入口交差点以南では車線数が不足しており、朝夕の通勤時間帯に混雑が発生している状況。

<大型観光バスの往来に対応した車線数の確保>

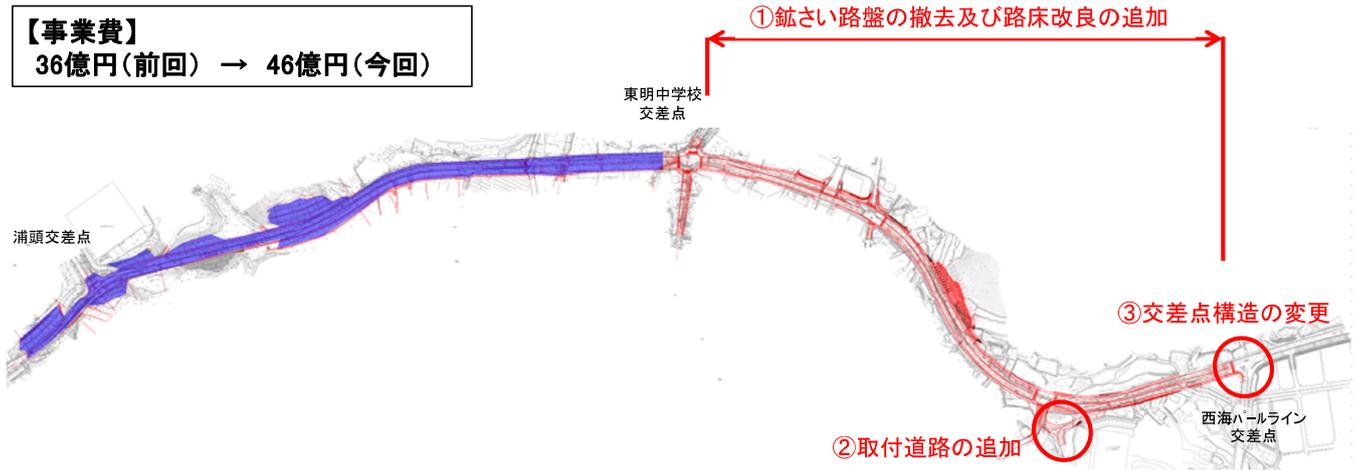
佐世保港浦頭地区で国際クルーズ船の拠点整備が行われており、大型観光バスの国道への流入による交通環境の悪化が予測されている。



4

4. 事業の進捗状況(事業費の増加)

【事業費】
36億円(前回) → 46億円(今回)



事業費増の内容	増額	主な増額理由
① 鉋さい路盤の撤去及び路床改良の追加	約1.5億円	現地精査の結果、鉋さい路盤が確認されたため、撤去工及び路床改良を追加
② 取付道路の追加	約1.5億円	関係者との協議の結果、交差点を集約化し、取付道路を追加
③ 交差点構造の変更	約2.5億円	関係機関との協議の結果、安全な走行を確保するため、交差点構造を変更
④ その他	約4.5億円	労務費や資機材等の単価上昇
合計	約10.0億円	

5

4. 事業の進捗状況(事業費の増加)

① 鉋さい路盤の撤去及び路床改良の追加(+1.5億円)

・当初、現道部の舗装構成はアスファルト舗装+路盤材(砕石)と想定していたが、令和4・5年度の舗装工事において、鉋さい路盤が確認され、処理施設へ搬出する必要が生じ、併せて路床改良も必要となった。今後も、鉋さい路盤が見込まれることから、鉋さい路盤の撤去及び路床改良の増工を行う。

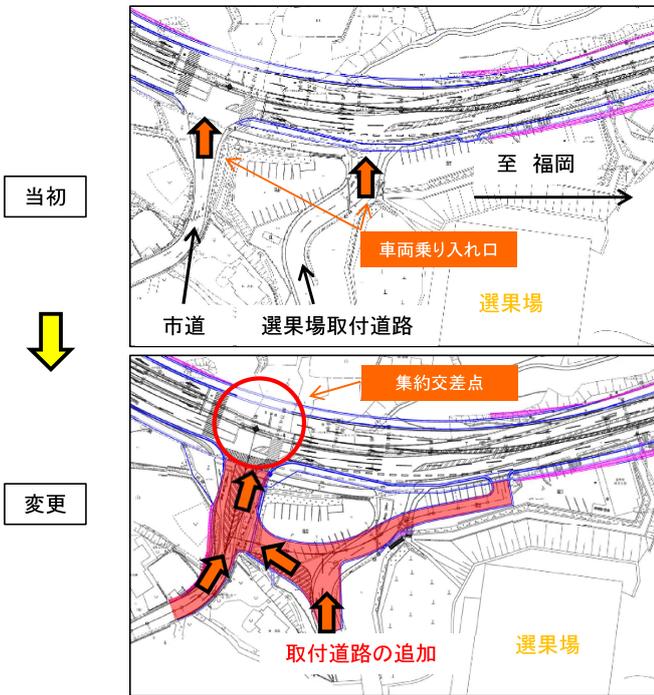


6

4. 事業の進捗状況(事業費の増加)

②取付道路の追加(+1.5億円)

・当初、隣接するみかん選果場の取付道路は既存形状のまま供用することで設計していたが、所管するJAとの協議の結果、福岡方面へ大型トレーラで出荷していることが判明し、今回の4車線化による信号無しでの右折が危険であるため、取付道路を追加し、交差点を集約化する。



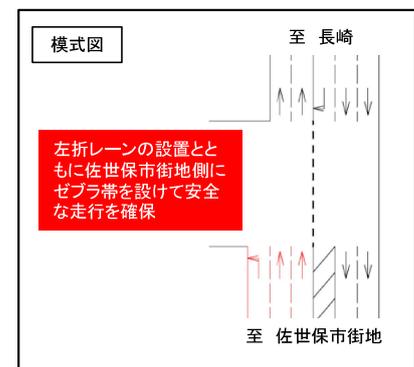
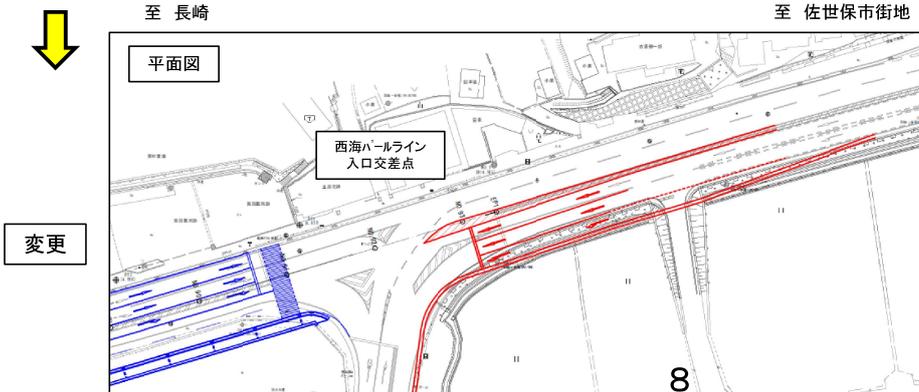
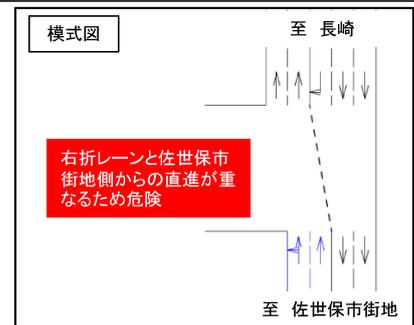
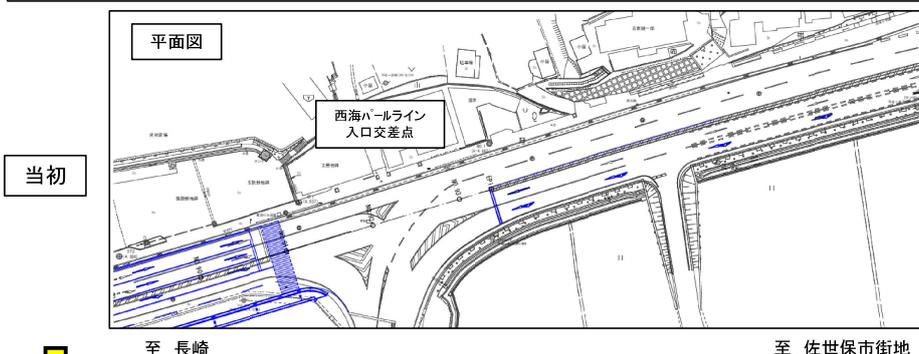
大型トレーラ出荷状況

7

4. 事業の進捗状況(事業費の増加)

③交差点構造の変更(+2.5億円)

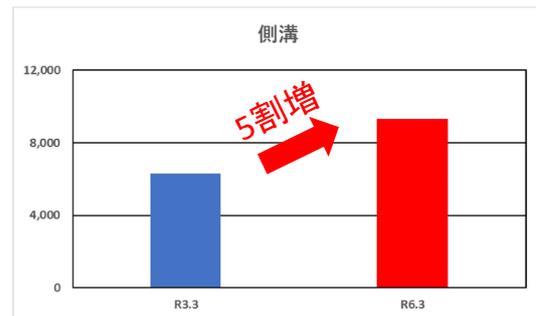
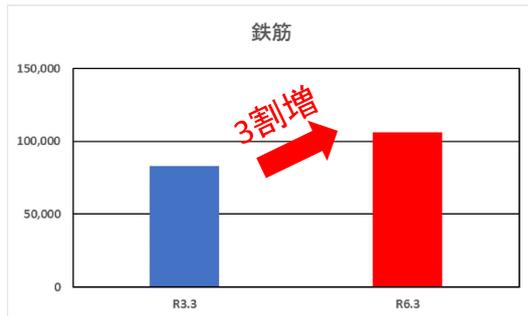
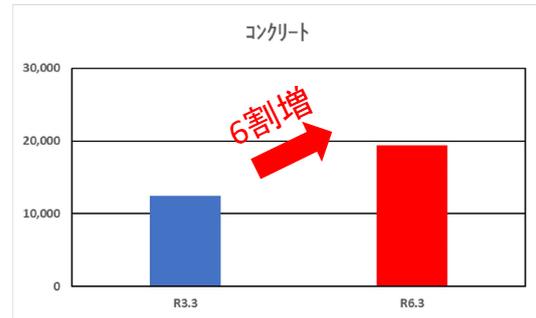
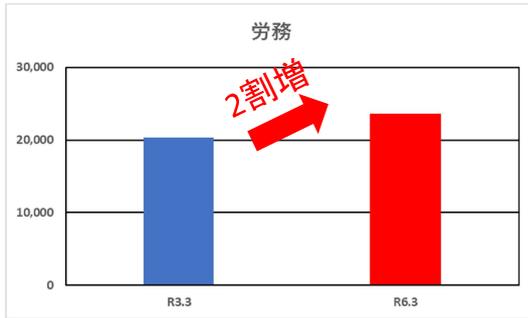
・当初、西海パールライン入口交差点においては、長崎側のみの整備としていたが、供用開始に伴い、交通管理者と再度協議を実施したところ、現計画では、交通事故の懸念があることから、佐世保市街地側については、中央にゼブラ帯を設けて、安全な走行を確保し、併せて左折専用レーンを整備し、円滑な走行を確保する。



8

4. 事業の進捗状況(事業費の増加)

③労務費や資機材の物価上昇による増額(+4.5億円) R3⇒R6増額分

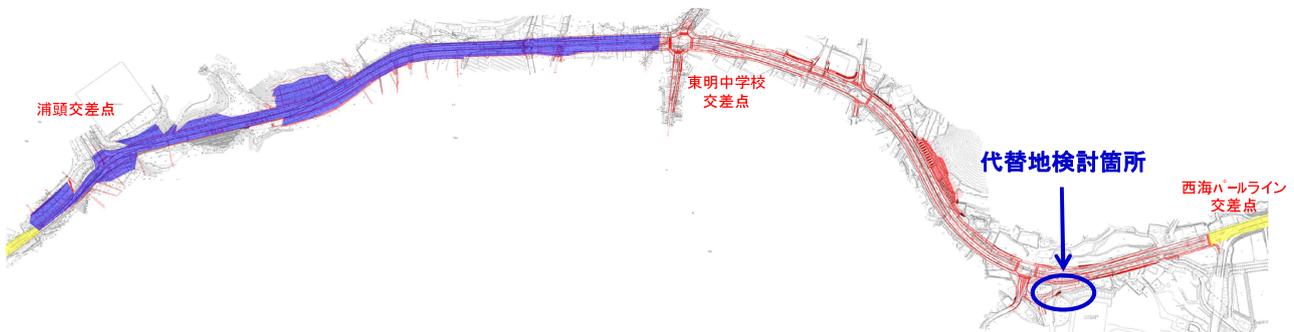


9

4. 事業の進捗状況(事業期間の見直し)

【完了工期】 R7(前回)→R8(今回)

・用地取得において、代替地検討に不測の日数を要したため、施工期間を延長する。



◆工程

(前回)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
測量・調査	■	■								
道路設計		■	■	■	■	■	■	■	■	■
用地買収		■	■	■	■	■	■	■	■	■
工事		■	■	■	■	■	■	■	■	■

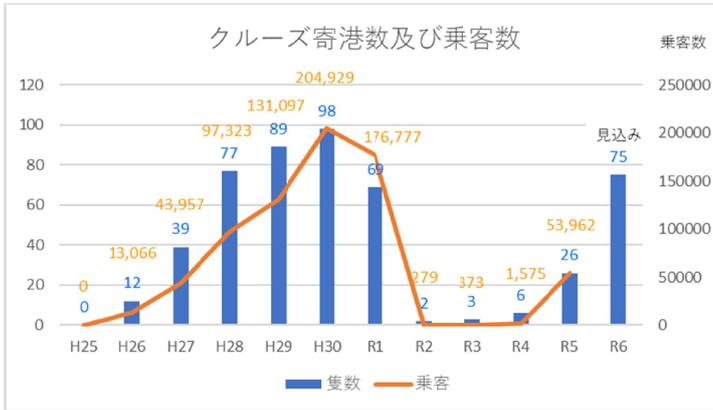
(今回)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
測量・調査	■	■								
道路設計		■	■	■	■	■	■	■	■	■
用地買収		■	■	■	■	■	■	■	■	■
工事		■	■	■	■	■	■	■	■	■

10

5. 社会経済情勢等の変化

・クルーズ船の寄港隻数はコロナ禍で一時的に減少したが、今後も増加が予測されており、それに伴う外国人一時上陸者数の増加により、地域の観光産業の収益が増大し、新たな雇用が創出され、地域活力の向上が期待される。



佐世保港における国際クルーズ客船の寄港回数



佐世保港（浦頭地区）国際クルーズ拠点

6. 事業の投資効果

◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (令和3年度)	今回評価 (令和6年度)
残事業	4.21 = 47.9億円 / 11.3億円	5.31 = 52.75億円 / 9.94億円
全事業	1.25 = 47.9億円 / 38.2億円	1.08 = 52.75億円 / 48.90億円

〔費用〕

- ・道路整備に要する事業費、道路維持管理に要する費用

〔便益〕

- ・走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益

〔プラス要因〕

- ・費用便益分析マニュアルの改訂
→原単位(価格)の増加

〔マイナス要因〕

- ・事業費の増
- ・事業期間の延長

◆ B/Cでは計測できない効果

- ・緊急輸送道路の防災機能強化

7. 対応方針(原案)

- ◆ 佐世保港浦頭地区から佐世保市街地へのアクセス性向上により、地域産業の活性化や観光振興に寄与する事業である。
- ◆ 事業進捗率は事業費ベースで約76%〔35億円/46.0億円〕であり、用地進捗率は面積ベースで約92%となっている。(令和6年3月末現在)
- ◆ 佐世保市から早期の整備促進を要望されている。
- ◆ 事業費の増額、事業期間の延長はあるものの、費用対効果が見込まれる。

